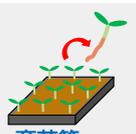


代表的な育苗スケジュール例 (2018~2019年調査当時)

スギ実生苗

注) 地域の区分は2ページのグラフをご覧ください。
育苗季: 播種(挿穂)から出荷までに要する季節の数

地域	生産様式	育苗季	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
東北	1年生幼苗	7			播種		移植	移植	移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7			播種				移植		出荷				
		7			播種							出荷			
	直接播種	6			播種					出荷					
関東甲信	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
東海	1年生幼苗	7			播種			移植	移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7			播種		移植				出荷				
近畿	1年生幼苗	7			播種			移植	移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	9			播種				移植				出荷		
	直接播種	3			播種		出荷		出荷						
中国	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	9	播種								出荷				
四国	1年生幼苗	7			播種		移植	移植	移植		出荷				
		6			播種		移植	移植		出荷					
	育苗箱/ セルトレイ	6			播種					出荷					
		5	播種					出荷							
		4		播種				出荷							
		4		播種				出荷							



スギ挿し木苗

地域	生産様式	育苗季	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
九州	春挿し	直挿し	3		挿穂		出荷	出荷							
		床挿し(露地)	4		挿穂	移植		出荷							
		7		挿穂		移植			出荷						
	秋挿し	直挿し	6	挿穂				出荷							
		箱挿し	5	挿穂		移植		出荷							
		床挿し(露地)	5	挿穂		移植	移植	出荷							
床挿し(密閉)	5	挿穂		移植		出荷	出荷								





スギ挿し木苗について

春秋の挿し付け時期ごとにいくつかの育苗方法がありますが、春はコンテナへの直挿し、秋は箱挿し、床挿し(畑に挿す方法)が多くを占めています(詳しくは7ページ参照)。

挿し木苗生産では、挿し穂の確保

が課題になっています(17ページ参照)。現状ではサイズの大きな挿し穂であれば春の直挿しで短期育苗が可能ですが、挿し穂の数を確保するため、育苗期間は要しますがより短い挿し穂を用いて秋挿しを行うケースもあります(詳しくは6ページ参照)。

挿し木苗生産については

- 効率のよい採穂(短い穂木の利用)
- 速やかに規格に達するための発根及び成長の促進

が重要になると考えられます。

カラマツ実生苗

注) 地域の区分は2ページのグラフをご覧ください。
育苗季: 播種から出荷までに要する季節の数

地域	生産様式	育苗季	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
北海道	1年生幼苗	9	播種						移植		出荷				出荷
		7			播種				移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	5			播種				出荷						
	直接播種	3			播種		出荷								
東北	1年生幼苗	7			播種		移植		移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7			播種				移植		出荷				
	直接播種	3			播種		出荷		出荷						
関東甲信	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7	播種		移植				出荷						
		7			播種				移植		出荷				
	直接播種	3			播種		出荷								

ヒノキ実生苗

地域	生産様式	育苗季	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
東北	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
関東甲信	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
東海	1年生幼苗	7			播種		移植	移植	移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7			播種		移植				出荷				
近畿	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	9			播種			移植					出荷		
	直接播種	3			播種		出荷		出荷						
中国	1年生幼苗	7			播種				移植		出荷				
四国	1年生幼苗	7			播種		移植	移植	移植		出荷				
	育苗箱/ セルトレイ	7			播種		移植				出荷				
		5	播種				出荷								

実生苗について

コンテナ苗生産が始まった当初のマニュアルでは、1年生幼苗を用い、出荷までに2年弱の育苗期間が必要とされていました。近年の新たな稚苗生産方法(育苗箱、セルトレイ、直接播種)の導入により育苗期間が大幅に短縮され、最短で1年以内で出荷規格を満たす苗の生産が可能となっています。特

に、コンテナへ直接播種するケースでは、1年以内の出荷を実現している事例が多く地域で見られます。

従来から行われてきた裸苗の育苗では地域間で育苗期間に差が見られますが、コンテナ苗の導入により、育苗期間が短縮されると共に、地域間で平準化されていると考えられます。

実生では育苗期間を短縮するために

- 播種後、速やかに発芽、成長する種子の確保、取り扱い
- コンテナ移植後、成長を促進する育苗方法

植栽後の生残・成長を損なわないための

- 育苗中の品質管理に関する情報が重要になると考えられます。